

# 第38回千葉県高文連放送コンテスト アナウンス・朗読部門 参加者へ

間もなく放送コンテストが行われます。アナウンス・朗読部門に出場する生徒に連絡です。

- 予選の発表番号は、顧問の先生へ 10/31 にメールでお知らせしました。

届いていない場合は、至急、コンテスト委員長、志村までお問い合わせください。

(提出原稿に必ず、番号を記載してください。また、朗読部門は、**予選で読む箇所** 全てに赤ペンで傍線を引いてください。原稿2部は、受付で学校ごとに顧問の先生か代表生徒が提出してください。)

- 発表席へ**携帯端末(スマートフォンやタブレット)**の持ち込みは、**不可**とします。

タブレット等に原稿の電子データを入れ、それを見ながら発表している生徒があります。それ自体を否定するつもりはありませんが、近年、様々なアプリが開発されており、それを起動した状態で発表することでコンテストが公正ではなくなることが考えられます。運営側で内容までは確認できませんので、目的を問わず**一律不可**といたします。

発表原稿(持込み原稿のフォーマットは問いません)は、紙に**印刷されたもの**をお持ちください。それをクリアファイル等に入れるのは問題ありません。ただし、本選ではケーブルテレビの収録があり、原稿裏に【推しの写真】や【キャラクターの絵】などが入っていると、バッカリ映ってしまいます。自分を鼓舞するために必要なアイテムかもしれません、過度なものは避けるようお願いします。また、ストップウォッチは特に規制しませんが、音が出ないよう設定してください。

- 舞台上で同じマイクを使った発表を行います。

① 会場に入る前などに、基本的な手洗いの励行、手指消毒をお願いします。

② 使い捨てのマイクカバーは使用しません。

③ 発表は、マスクを着けたまま発表しても構いませんが、音量・音質の調整は致しません。

- 体調がすぐれない(特に発熱している・喉が痛い・咳が出るなどの症状がある)場合は、当日の参加を控えてください。事前に録画した動画データを提出していただければ、動画データで審査します。(詳しくは、募集要項を確認してください)

体調が突然悪くなることもありますので、あらかじめ動画を撮影しておくことをお勧めします。

- ホール内でのマスクの着用は強く求めていませんが、隣り合っている席や前の席の方(同じ学校、他の参加校問わず)が不快な思いをしないように気を配ってください。

## <当日の発声練習について>

- 建物の中での発声練習はしないでください。休み時間以外のロビーでの読み練習も同様です。  
(コンテスト運営委員会の方で発声練習場所を設けてはいません)

- 建物の外でも、近隣の方に迷惑がかかるような練習はしないでください。

特に、コンテストの朝に、県庁裏の川沿いで練習している学校が毎年見受けられます。

**川の周辺で生活されている方がいます。**学校の敷地内ではなく街の中であることも意識してください。※ コンテストの際に、近隣住民から苦情が出てきます。

例) 遠くに聞こえる大きな声を出す発声練習(ロングトーン・えいうえおあお等)

近隣の方、通行人の方とトラブル発生時は、各学校で対処をお願いします。